

2022 年度人文学部 FD 活動方針・計画（キリスト教学科、人類文化学科、心理人間学科、日本文化学科）

学部全体としては、FD 活動に関して、各学科の時間割担当教員、学部教務委員、学部 FD 委員からなる人文学部カリキュラム委員会において検討等をすすめていく。2022 年度は、2021 年度に行った調査とその検討結果を踏まえて、学生の学力の問題（基礎学力の低下、学生間の学力差の拡大、学力が原因で授業についていけない学生や、学習面で困難を感じている学生への支援等）に焦点をあてる、この問題について、学部全体として理解を深め、組織的、個人的に適切な支援が可能になることを目指した活動を計画、実施したいと考える。

また各学科では、以下のような方針・計画の実行を予定している。

キリスト教学科では、毎年「卒業プロジェクト発表会」を実施しているが、2020 年～21 年度はオンライン開催となったことから、従来とは異なる卒論提出者全員発表という形での運営を試みた。そこで、この経験を踏まえた上で、この発表会に関し、この 2 年間で浮かび上がった課題を具体的に検討していく予定である。

人類文化学科では、昨年度にその一部を修正した「研究プロジェクト」の評価基準をもとにした評価結果を分析し、問題点の洗い出しを行なうとともに、口頭試問に関する評価基準のルーブリック化を検討する。また、大学のディプロマ・ポリシー（DP）改訂作業に連動する形で、学科 DP の見直し作業をすすめ、学科カリキュラムの総点検を行なう。さらに、学科アンケートの設問内容を改めて精査するとともに、学科アンケートの回収率向上のための方策を考える。

心理人間学科は、継続的に①多様な機会をとらえて学生の情報、授業の情報を共有するよう努めること、②公認心理師受験資格対応のカリキュラムを計画通りに進めること、③新入生、卒業生、オープンキャンパス参加者を対象とした学科教育にかかる調査活動を行うことに注力してきた。④2019 年度より実施してきた学生の計画的な履修に対する学科としての指針に沿った学生指導を進めること、および⑤授業外での学習を奨励することを、今年度も行っていく。近年、公認心理師受験資格対応のカリキュラムや新しい指針の導入、授業外における学生の自主的な学習の奨励を続けてきた。2022 年度は、これら新しく導入した仕組みが学生の学習に有益に作用しているのか否かについての検討を引き続き行っていきたい。学生の学習に対する影響、成果については、定量的・一定性的把握、主観的－客観的等多側面からのアプローチを学科で検討し、今後の FD 活動に資する情報を得ることを目指したい。

日本文化学科では、例年卒業生に対して行っているカリキュラム調査等を参考にしつつ、より一層のカリキュラムの充実を目指して、継続的に話し合っていく予定である。学生への指導に際しては、従来と同様に学科内における情報の共有を怠ることなく、細やかな対応に努めることとしたい。特に、2021 年度の学科 FD（テーマ「研究プロジェクトの指導」）および学科自己点検・評価（テーマ「研究プロジェクトの評価」）を踏まえて、研究プロジェ

クトの指導をより充実したものにするとともに、研究プロジェクトのより適正な評価方法について検討を重ねたい。また、毎年年度末に行う学科 FD については、本年度の取り組みを踏まえて、有意義なものを開催したい。なお、昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルスの影響で、新入生のための一泊のオリエンテーション行事を中止せざるをえない。それに代わるものとして、4月中旬に予定されている新入生オリエンテーションを充実したものとし、1年生が、大学生活を円滑に始められるように、例年以上に留意していきたいと考えている。